

【重要】 重点点検報告様式については、3ヶ月間の点検結果を1枚にまとめて報告して下さい。

① 「保有台数」については
重点点検の実施期間(3ヶ月
間)の平均台数を四捨五入し、
整数値で記入してください。

② 「定期点検実施台数」については3ヶ月間で定期点検を実施した全ての車両台数を記入してください。
(3ヶ月間で同一車両に対して2回以上定期点検を行った場合も、1台として計上してください。)

③ 「不適合」の欄には、不適合があった台数を記入してください。ただし、複数の不具合箇所があっても1台と計上してください。

④「不適合別内訳件数」の欄には、それぞれの項目について内訳を記入してください。

ただし、どの項目にも当てはまらない場合は、③「不適合」台数のみに記入し、内訳を記入いただく必要はありません。

⑤ 「総走行距離別」と「初度登録年別」の内訳についても記入してください。

台数を四捨五入し、
記入してください。

重点点検報告様式				別紙 2
		回収率		
バス合)	大型バス (貸切)	大型トラック (被牽引車を除く)	大型トラック (被牽引車)	
保有台数				
定期点検実施台数				
うち 12月点検				

対象となる「大型車両」は、「乗車定員30人以上のバス」と「車両総重量8トン以上のトラック」のことをいう。

(点検後の留意点等)

① 点検整備作業終了後には、エンジン上やエンジンルーム内に、ウエス等可燃物の置き忘れがないかを確認する。

② フューエル・フィルタ・オイル・フィルタ等を交換したときは、必ず試運転して、燃料又はオイルのにじみや漏れがないかを確認する。

※ 試運転時、マフラー・テールパイプの接続部等から、排ガスが漏れていないかを確認。

※ 下記にない不具合については、「不適合」の数に計上。

※ ご協力いただける場合は、

定期点検実施
については3ヶ月
定期点検を実
施する車両台数
を記入してくだ
さい。

同一車両
2回以上定期
点検を行った
場合も、
1台と計上して
ください。

③ 「不適合」の欄には、不適合
があった台数を記入してください。
ただし、複数の不具合箇所があっ
ても1台と計上してください。

④ 「不適合別内訳件数」の欄には、
それぞれの項目について内訳を記入し
てください。
ただし、どの項目にも当てはまらない場
合は、③「不適合」台数のみに記入し、
内訳を記入いただく必要はございませ
ん。

⑤ 「総走行距離別」と「登録年別」の内訳について
も記入してください。

点検の実況		不適合		不適合別内訳		総走行距離別		登録年別	
ホース・パイプの亀裂	件	50超～100万km	台	H25～	台				
クラップの取付状態	件	100万km超	台	H21以前	台				
ゴムの劣化	件	～50万km	台	～H26年	台				
クラップの取付状態	件	50超～100万km	台	H25～H22年	台				
電気配線の干渉	件	100万km超	台	H21年以前	台				
溝の深さ	件	～50万km	台	～H26年	台				
空気圧	件	50超～100万km	台	H25～H22年	台				
誤組	件	100万km超	台	H21年以前	台				
緩み	件	～50万km	台	～H26年	台				
ボルト、ナットの亀裂・損傷・著しい錆	件	50超～100万km	台	H25～H22年	台				
ボルトの伸び	件	100万km超	台	H21年以前	台				
ディスク・ホイールの亀裂・損傷	件	～50万km	台	～H26年	台				
接合部の腐食	件	50超～100万km	台	H25～H22年	台				
接合部の腐食	件	100万km超	台	H21年以前	台				
良好	件	～50万km	台	～H26年	台				
傷	件	50超～100万km	台	H25～H22年	台				
一タと接触	件	100万km超	台	H21年以前	台				

【重要】 ホイール・ナット緩み報告様式については、複数回実施も点検結果を1枚にまとめて報告してください。

ホイール・ナットの緩み報告様式

別紙 4

① 「保有台数」については点検実施時点での台数を記入してください。

保有台数		回収率
大型トラック (被牽引車)	台	台

(トラックのみ)

点検項目	点検の実施方法	必須記入
		ホイール・ナットの緩み有
ホイール・ボルトの緩み	①ホイール・ナットが規定トルク(自動車製作者が定めるトルク値をいう。)で締め付けられているかトルク・レンチを用いるなどにより点検する。 ②JIS方式のダブル・タイヤの場合は、ホイール・ボルトの半数(1個おき)のアウトナー・ナットを緩めて、インナー・ナットが規定トルクで締め付けられているかをトルク・レンチを用いるなどにより点検する。次に、緩めたアウトナー・ナットを規定トルクで締め付ける。その後、ホイール・ボルトの残りの半数のアウトナー・ナット及びインナー・ナットについても同様の措置を講じる。	台

③ 「総走行距離別」と「初度登録年別」の内訳についても記入してください。

総走行距離別	初度登録年別
50万km未満	H28年以降
50超～100万km	H27～H24年
100万km超	H23年以前

② 「ホイール・ナットの緩み有」の欄には、緩みがあった台数を記入してください。
ただし、複数輪及び複数のナットの緩みがあっても1台と計上してください。